

世界羊編・モンゴルとインドネシアの音空間便り

羊を数えて眠る会



THE COUNTING SHEEP FOR SLEEP SOCIETY

2026年8月8日(土)

13:30~16:30

京都文化博物館別館ホール

主催 京都府京都文化博物館



THE
MUSEUM
OF KYOTO

京都文化博物館





羊を数えて眠る会 The Counting Sheep for Sleep Society

世界羊編・モンゴルとインドネシアの音空間便り

世界各国の羊が京都文化博物館別館で大放牧。心地良いモンゴルの大草原を吹き抜ける風のようなホーミーと馬頭琴の倍音に、ジャワの神秘的なガムランの響きが交わる音空間。この3つが融合することで、大地と宇宙が共鳴するような幻想的なアンビエント空間が生まれます。旧日本銀行京都支店である京都文化博物館別館は、高い天井、豪華なシャンデリア、そして赤レンガと白い花崗岩の外観が特徴です。ここに温かみのある手作りの羊が200頭も並ぶことで、近代建築のクラシカルな硬質さと、羊たちの柔らかな質感・有機的なフォルムが美しいコントラストを描きます。

羊を数えて眠る会
タイムスケジュール
(自由入場)

13:30~14:00 小さな羊のブローチワークショップ
14:10~14:50 羊を数えて眠る会一部
15:00~15:30 小さな羊のブローチワークショップ
15:40~16:10 羊を数えて眠る会二部
16:10~16:30 羊を数えて眠る会の撮影会&終演



井上信太／美術家・アートコンダクター

羊飼プロジェクトを中心に国内外で多数の展覧会を行なう。近年は、多領域のアーティストとのコラボレーション、劇場、能舞台、病院、茶室など新しい空間での平面構築を積極的に取り組み、次世代平面表現の可能性を探っている。主に三陸沿岸での防潮堤や三陸鉄道でのプロジェクトや東京の豊洲と岩手の大船渡を繋げる交流事業などを手がける。特にホスピタルアートや障がいのある子どもたちとのセッション、及びポストワークショップをテーマに世界中の子どもたちとコミュニティーアートを実践している。

京都在住、羊を数えて眠る会主宰、堺市文化芸術審議委員。



インドネシア伝統芸能団ハナジョス／ガムラン

2002年ジョグジャカルタで結成し、2004年初来日からジャワの伝統音楽ガムランと影絵芝居ワヤンの上演を始め、現在まで日本各地で公演を行う。メンバーはジャワ生まれのローフィと大阪生まれのひろみの2人。

大阪府茨木市ではガムランとジャワ舞踊のサークルを主宰し、地域の祭りなどに出演。また、滋賀県甲賀市の碧水ホールでは、ガムラングループ「ティルト・クンチョノ・スミー」の演奏指導も行う。ワヤン作り体験や、ガムランの授業、アセアン出前講座(堺市)など、インドネシアの文化や芸能の魅力を伝えるため、さまざまな活動を展開する。

HP:<https://hanajoss.net/>



福井則之／馬頭琴弾き

大学生の頃に馬頭琴とホーミーに出会い、独学で始める。

2004年に中国内モンゴル自治区に留学。内蒙古大学芸術学院で馬頭琴を専攻し、若手実力派の馬頭琴演奏家ハズバグン氏に馬頭琴を学ぶ。ホーミーは内モンゴルで最も著名なフグジルトゥ氏に師事。帰国後は馬頭琴とホーミー教室を開いて普及に尽力するとともに演奏活動にも力を入れている。

馬頭琴の祖先の一つであるチョールという楽器も研究し、モンゴルの音楽を追求し続けている。

無料
小さな羊のブローチ
ワークショップ
先着 70 名



THE MUSEUM
OF KYOTO

京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 FAX.075-222-0889
www.bunpaku.or.jp

